

「個別最適な学び」と「協働的な学び」

校長 山田 吉夫

本校は、令和4年度から2年間、大島地区「指導方法改善」研究協力校として、授業改善のための研究を進めていくことになりました。これから、10年後、20年後の社会は、ますます複雑で多様化していくことが予想され、子供たちは次々と生み出される新しい価値を受け入れながら、進路を選択していくことになると思われます。予測困難な時代を生き抜く子供たちに、今すぐ身に付けてもらいたい力はいろいろありますが、これから進めていく本校の研究においては、端的に言えば「自分の学びをコントロールする力」を子供たちに身に付けさせたいと考えています。

全国的なコロナ禍による臨時休業が長く続いた期間、教師や学校からの指示が無ければ、何をしてもよいか分からない子供たちが多かったことが実態として指摘されています。そのような中、令和3年1月に、国（中央教育審議会）は、「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」という答申を公表しました。「個別最適な学び」とは、教師の立場からは、子供一人一人に合った教育を行うことですが、子供の立場からは、自分に合った学び方で学ぶことをイメージしています。そして、それは自分一人だけで行う「孤立した学び」ではなく、多様な考えをもった他者と力を合わせることで問題解決する「協働的な学び」も同時に求められています。この学びは、子供たちが成長して社会に出てからも必要とされる力です。自分自身の長所を生かしつつ、他者の多様性を認め、それを積極的に受け入れながら、新しい価値を生み出していく力に繋がっていくものです。

本校では、今後2年間の研究に取り組んでいきますが、学校でも家庭でも「子供たちの学びが変わったな」と少しでも感じていただけるように努めて参りますので、授業参観の機会や家庭学習の様子などについて、様々な情報を学校にお寄せいただければ幸いです。子供たちにとって大切な力を、学校と家庭が一体となって育んでいけたらと思います。



さざ波バンド大活躍!



ゴールデンウィーク最終日の5月5日はさざ波バンドが自然の家と奄美パークで2講演を行いました。今年の活躍も目が離せません!

★お知らせ★

★教科書展示会について

期間:6月10日～24日

場所:名瀬小学校内(大島地区北部教科書センター)



★第1回学校保健委員会中止について★

年間行事予定で6月10日に予定していた標記の会は、感染症拡大防止の観点から中止と致します。なお、内容については、次回の学級PTA資料にてお知らせします。